

**最** 近は寒い日が続く、いやよ冬が近づいてきたなと感じています。わが家では早速リビングにコタツを出しました。コタツに入るとごろごろしながらテレビを見ている時間は本当に至福の時間です。コタツの程よい暖かさ、気付くといつもつとつ

**今** 年もわが家のミカンの木に実がたくさんなりました！実を数えたら1000個くらいあり、だんだん黄色くなってきたので、ミカンが大好きな孫と一緒に食べるのが楽しみです。(70代・女性)  
 たくさんのミカンが実りましたね。きっとお孫さんも大喜びしてくれることでしょう。今から食べ頃が待ち遠しいですね。

**寄せられた声**



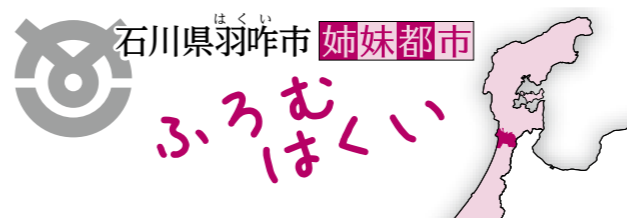
みなさんからの声を紹介します。

お便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

**一** 波石とともに名高い冬桜。今年も開花シーズンは近づいてきました。日本庭園の周りのライトアップも大好きです。今年もぜひ見に行きたいと思っています。(50代・女性)

冬桜や紅葉の状況はホームページにて随時お知らせしておりますので、ぜひご確認の上お越しください。また、桜山公園のライトアップについては10ページをご確認ください。

**女性** 冬のコタツはとても心地の良いものです。多くの方がコタツに入ってしまうと寝てしまった経験があるのではないのでしょうか。コタツで寝ると風邪をひきやすいと言われていて、ぜひ健康に注意して楽しい冬の生活を過ごしてください。



↑10万人目となった石川県金沢市からお越しのご家族。

買い物客10万人達成

**道の駅のと千里浜、大盛況**

9月9日、“道の駅のと千里浜”の買い物客が、オープンから約2カ月の早さで10万人を達成しました。記念すべき10万人目のお客さんには、山辺市長から道の駅の特産品セットが贈られました。

また、この日はちょうど千里浜神社の秋季祭礼の初日で、神輿や獅子舞、山車が道の駅でも披露され、ますますのにぎわいが祈願されました。

大盛況の“道の駅のと千里浜”。羽咋の食の魅力が集結していますので、藤岡市の皆さんも羽咋市にお越しの際は、ぜひ、足を運んでみてください！

詳細は

[道の駅のと千里浜](#)

検索

**プレゼント**

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介いたします。

※個別の回答はしません

**応募・問い合わせ** ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から成田屋よりプリンとたまごまんじゅう各2個セットを10人にプレゼント。応募締切は11月17日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます



**プリンとたまごまんじゅう(2個ずつ)**

味付けたまごをほんのり甘い皮で包んだ、絶妙な味のおまんじゅう。

たまごまんじゅう、天然バニラ焼きプリンなど素材の美味しさをいかした体にやさしいお菓子作りを心掛けています。

**成田屋**

藤岡市藤岡66 ☎20368  
 営業時間／午前10時～午後7時  
 定休日／日曜日

プレゼントの提供者を募集しています。秘書課広報広聴係☎2208までご連絡ください。

**耳より情報**

おいしい・楽しいミカン狩り！



先月20日、桜山が山開きしました。桜山の麓にあるミカン園ではミカン狩りを楽しむことができます。ミカン栽培北限地とも言われた藤岡市三波川、ここで取れるミカンは甘みと酸味を併せ持った昔ながらの懐かしい味です。

**information**

- \*開園時期 12月中旬までの午前10時～午後4時
- \*料金 500円(食べ放題+1袋持ち帰り)
- \*問い合わせ 桜山観光ミカン組合(☎2826)

**ふじおか Culture**

～藤岡の文化を探る～ No.20

問い合わせ 文化財保護課(☎235997)

平成23年に調査された矢場三ツ橋B遺跡の出土品の一つに紡錘車があります。紡錘車とは、繊維に撚りをかけ、糸を作る道具です。県内では鐮川流域で石製の紡錘車が多く出土することが知られています。この地域では紡錘車の工房跡もみられ、西平井や本郷でも古墳時代の工房跡が調査されています。矢場三ツ橋B遺跡の紡錘車は市内南西部で採取される「滑石」という軟らかい石でできていますが、工房が作られた背景には、紡錘車作りに適した軟らかい石材がこの地域で入手しやすいことがあると考えられています。

ところで古代の人々は税として毎年調や庸を納めましたが、調は基本的にはその土地の布製品で納めました。庸も労役に代えて布(長さ約7.7m)を納めるものでしたから、税の納

**ぼうすいしゃ 紡錘車**

～古代の糸紡ぎ～

付には多量の糸が必要でした。糸紡ぎのため紡錘車も数多く必要だったといえます。

古代では、衣料品を自分たちで作らねばならず、紡錘車は衣類作りを支えた道具でしたが、同時に税の納付のために必須の道具でもありました。



矢場三ツ橋B遺跡出土の石製紡錘車と糸紡ぎの様子